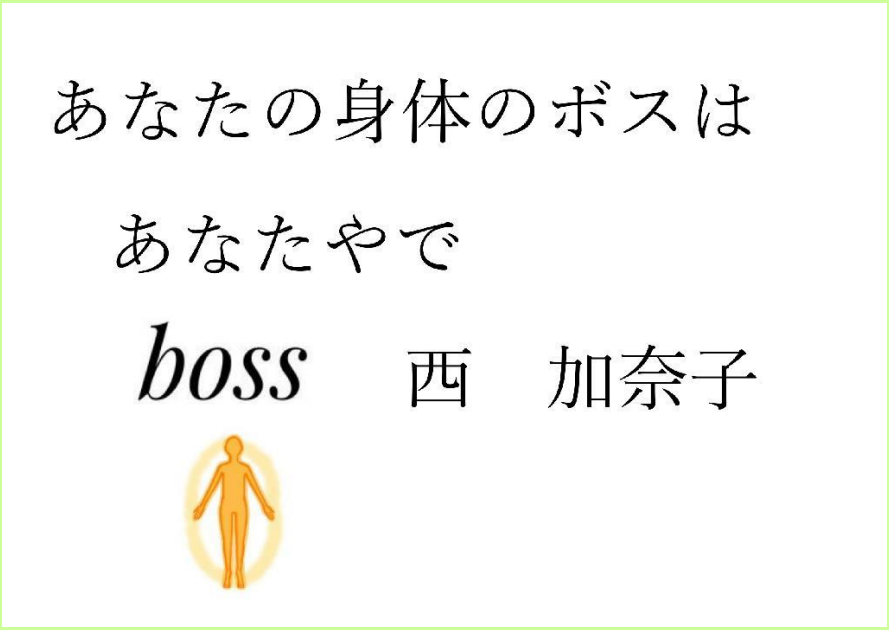

おはようございます😊

７月３週目掲示板の言葉です。作家の西さんはカナダ在住の頃乳がんにかかりカナダで入院治療をしました。これはカナダの病院で出会った看護師さんの一言です。 カナダの医療従事者は、病気を治療することにおいてはプロフェッショナルで様々な治療法を提案してくれます。しかし、最終的に治療法を選択するのは患者本人であり、患者が充分納得して治療に向かうことが大前提だとされています。決して医師、看護師にお任せではありません。 なぜなら患者の身体は患者本人のものだからです。 医療者が最善だと考える治療でも本人が拒めば無理強いは一切なく、本人が前向きに取り組んでいける医療を提供するのがカナダではスタンダードです。なにが自分にとって最優先か、なにが心地よくて、なにをしたくないのかとことん自分と向き合った日々だったと西さんは語っています。 人生の舵取りはどんなときも自分自身です。

言葉の選択＆解説　おおくぼちゃん